

# 19th International Conference on Biological Inorganic Chemistry

## (ICBIC-19)への参加（短期海外派遣）

所属：理学研究科 物質理学専攻（化学）

学年：博士後期課程 1年（D1）

氏名：榊原えりか

渡航先：インターラーケン（スイス）

渡航期間：2019.08.09－17

渡航目的：ICBIC-19に参加するため

### 概要

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラムの支援を受け、Congress Centre Kursaal Interlaken AG で開催された ICBIC-19 に参加し、「Construction of Hemoprotein HasA Incorporating Bulky Metal Complexes」という演題でポスター発表を行った。本学会では、10件の Plenary lecture（Award lecture を含む）、44件の Keynote lecture、144件の Invited lecture に加え、一般と若手研究者の口頭発表、ポスター発表があり、多くの研究発表を聞くことができた。

### 所感

本学会では、蛋白質、核酸、小分子（モデル錯体、抗がん剤）と様々な分野の研究者らによる最新の研究成果を聞くことができ、非常に有意義な機会となった。私の研究分野である金属錯体を含有した蛋白質の研究においては、創製した複合体を酵素などへの応用を試みた研究が多くあった。自身のポスター発表では、国外の研究者と積極的にディスカッションすることで、自身の研究課題に対する研究意欲がさらに高まったのと同時に、研究展開に関する質問や提案が多く、今後どのように研究を展開していくかを考えさせられた。また、自身の研究内容に近い研究活動をまとめたポスターの発表者らと議論を交わすことで、今後の研究指針に関する具体的な知見や研究手法が幾つか得られた。英語によるコミュニケーションにおいては、ポスター発表時に使用するような自身の研究に関する限られた表現にとどまっており、ランチや懇親会での積極的なコミュニケーションという点では、まだ課題が残ったため、今後の英語学習のモチベーションとしていきたい。

